

巨 樹 と の 出 会 い

《 2 》 志木市の巨樹たち・・・その5

本間 敏文

前回紹介しましたヒマラヤスギについて話を進めます。名前にスギが付いていますが、スギの仲間ではなくマツの仲間です。

さて、枝葉には揮発性の特有な香りを発散させ、バクテリアやカビを抑制するフィトンチッドによる抗菌作用があります。

10～11 月には雌花、雄花が短枝に1つずつ上向きにつきますが、雌花は小さくて目立つ数も少ないので見つけにくいです。

実（球果）は松かさのように開き、鱗片の隙間にある種は風に飛ばされ、鱗片は重たいのでバラバラと落下するが、実の頭頂部は固まったままポトと落ち、見た目がバラの花のようで「シダーローズ」と呼ばれています。



【ヒマラヤスギの実】



【シダーローズ】

次にこのヒマラヤスギの近くにありますがコウヤマキを見て行きましょう。

幹周りは311cmと巨樹としては小粒ですが、欠損もなく元気な巨樹です。コウヤマキの巨樹は埼玉県でも7本しかなく貴重な巨樹です。

さて、コウヤマキは1属1科1種という特殊な日本固有種です。庭園や寺社の境内に植栽され、宗教儀礼としてその小枝が仏前に供えられるなど、日本の文化的・宗教的な面からも重要な樹木です。

名前の由来は、高野山真言宗の総本山である高野山で多く見られることによるものです。

また、世界三大庭園樹として賞賛されています。

前回紹介しましたヒマラヤスギも世界三大庭園樹となっています。



【宝幢寺のコウヤマキ】

編集後記

◇表紙の写真の場所が知りたいとの意見があり、場所を示した地図の URL を QR コードにして印刷しましたのでご利用ください。記事は、できるだけ堅苦しい報告書になるのを避け、雰囲気が伝わるような形に心がけました。また、できるだけ多くの人に記事を寄せてもらう様に調整させていただきました。（青木明雄）

エコシティ志木通信

第100号 2020年12月1日

〈発行〉

NPO法人 エコシティ志木

〒353-0006 埼玉県志木市館 1-1-2-108

電話/FAX 048-471-1338（天田真）

URL <http://kappa-no.net/eco-shiki/>

E-mail eco-shiki@ff.e-mansion.com